

平成 30 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ニッソウ  
(コード番号 1444 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 前田 浩  
問合せ先 取締役管理部長 御供 信之  
T E L 03-3439-1671  
U R L <http://reform-nisso.co.jp>

事業計画の概要について

【売上高及び損益計画】平成 30 年 7 月期

(単位：千円)

|                      | 売上高       | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|----------------------|-----------|--------|--------|--------|-----------------|
| 平成 29 年 7 月期<br>(実績) | 1,551,317 | 99,712 | 85,276 | 60,338 | 150.84 円        |
| 平成 30 年 7 月期<br>(計画) | 1,681,144 | 91,620 | 77,518 | 50,541 | 126.35 円        |

(注) 平成 29 年 12 月 9 日付で普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行いました。第 29 期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

【平成 30 年 7 月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和の継続などにより緩やかな回復傾向にあると思われ  
ます。また、建設・不動産業界における新築住宅着工戸数も底堅く推移しております。今後、日  
本の人口が減少傾向にある中、当社の属する住宅リフォーム業界もその影響を受ける一方で、既  
存建物の老朽化が進むことにより当社のビジネスチャンスはむしろ増大すると考えております。

## (2)個別の前提条件

### ①売上高

当社は不動産物件の住宅リフォーム工事を獲得すべく、積極的に販売促進及び広告宣伝を行なうことで、取り扱い物件戸数を拡大してまいります。また、株式上場に向けての社内管理体制の強化・積極的な営業社員の採用を行ってまいります。この結果、売上高は1,681,144千円（前期比8.4%増）と予想しております。

### ②売上原価、売上総利益

売上原価におきましては、材料仕入先・外注先を見直し、原価率低減を目指しております。この結果、売上総利益は490,934千円（前期比8.7%増）と予想しております。

### ③販売管理費及び一般管理費、営業利益

販売管理費及び一般管理費は、営業エリア拡大に伴う広告宣伝費用、並びに人員増と昇給等による人件費の増加、及び社内管理体制強化費用を考慮し見積もっております。これにより販売管理費及び一般管理費は399,314千円（前期比13.5%増）と予想しております。この結果、営業利益は91,620千円（前期比8.1%減）と予想しております。

### ④営業外損益、経常利益

営業外収支におきましては、営業外費用として、株式公開費用を含め14,302千円を見積もっております。この結果、経常利益は77,518千円（前期比9.1%減）と予想しております。

### ⑤当期純利益

法人税の26,976千円を控除した結果、当期純利益は50,541千円（前期比16.2%減）と予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保障するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれらに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

この事業計画は、平成 30 年 1 月 18 日「事業計画の概要について」として当社のホームページに掲載したものと同一内容になります。